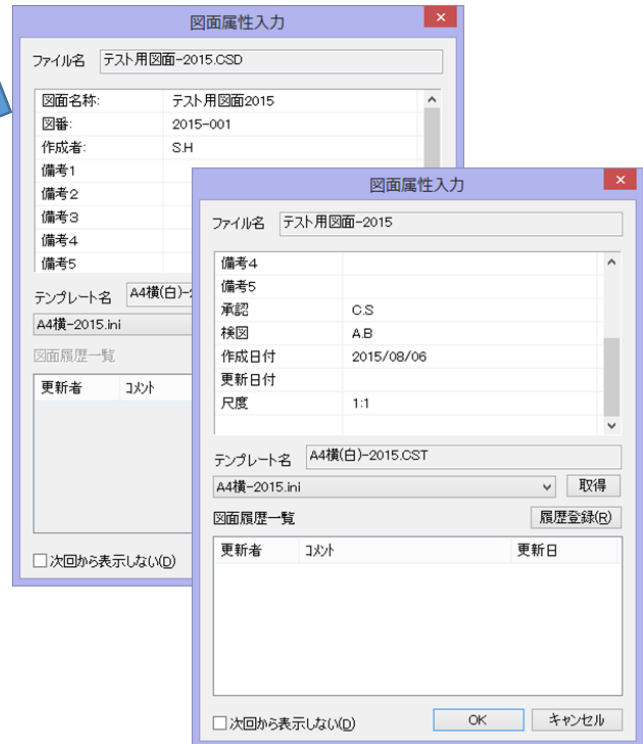


Q質問 図面保存時に、図面属性を自動で取込みたい。

A回答 対応バージョン：CS2015～

図面属性取得機能で、図面内の指定範囲にある文字列を図面情報として取込むことができます。

承認	検図	作成者	作成日付	2015年8月6日
C.S	A.B	S.H	更新日付	
			尺度	1:1
図面名称	テスト用図面2015			
備考				
図番	2015-001			



【設定手順概要】

1. 「図面付加情報」の設定をします

用紙サイズごとに、図面枠（図面情報の記入欄）を作成します。

「システムローカル設定」の「図面付加情報」で、図面情報として保存したい属性項目を追加します。

2. 図面情報の「項目に対する範囲」を指定します

「取得方法の定義」で、項目に対する範囲を指定します。

用紙サイズごとに定義ファイル（ini形式）を作成します。

3. 用紙サイズごとに定義ファイルを指定して、「図面情報リスト作成」を行います

「取得方法の割り当て」で、用紙サイズごとに定義ファイル（ini形式）を選択します。

設定したリストファイル（Flist形式）を保存します。

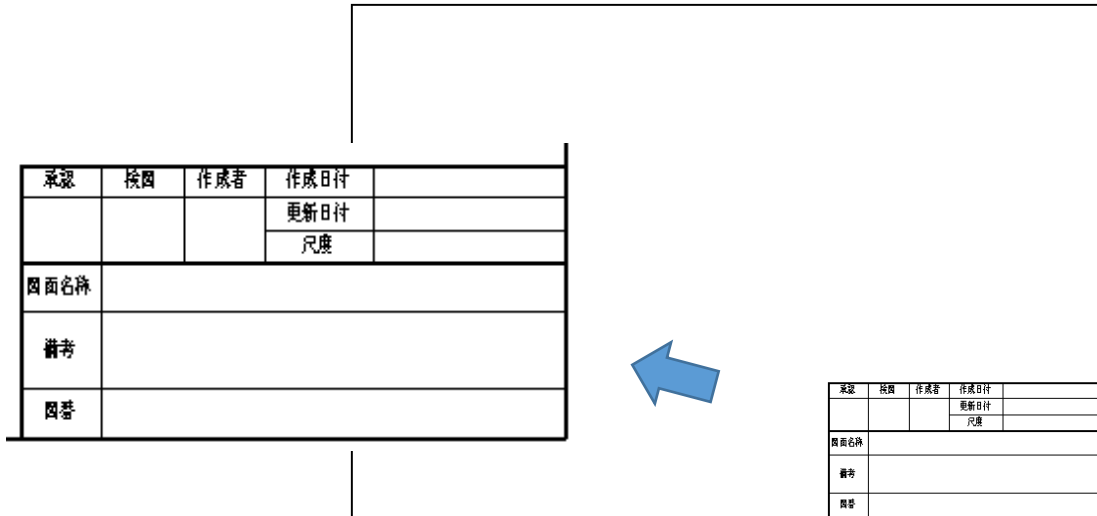
4. 保存時に図面情報を取込むように設定します

「ユーザープロパティ設定」で、「図面情報法利用リスト」を指定します。

【設定手順】

1. 「図面付加情報」の設定をします

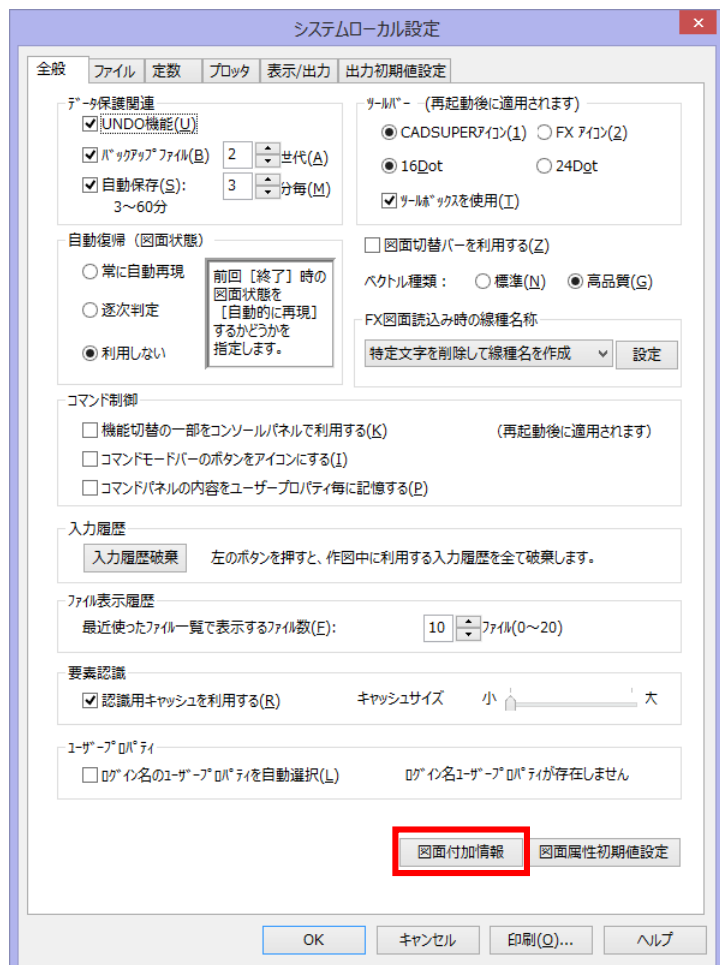
1) 用紙サイズごとに、図面枠（図面情報の記入欄）を作成してテンプレートとして保存します。



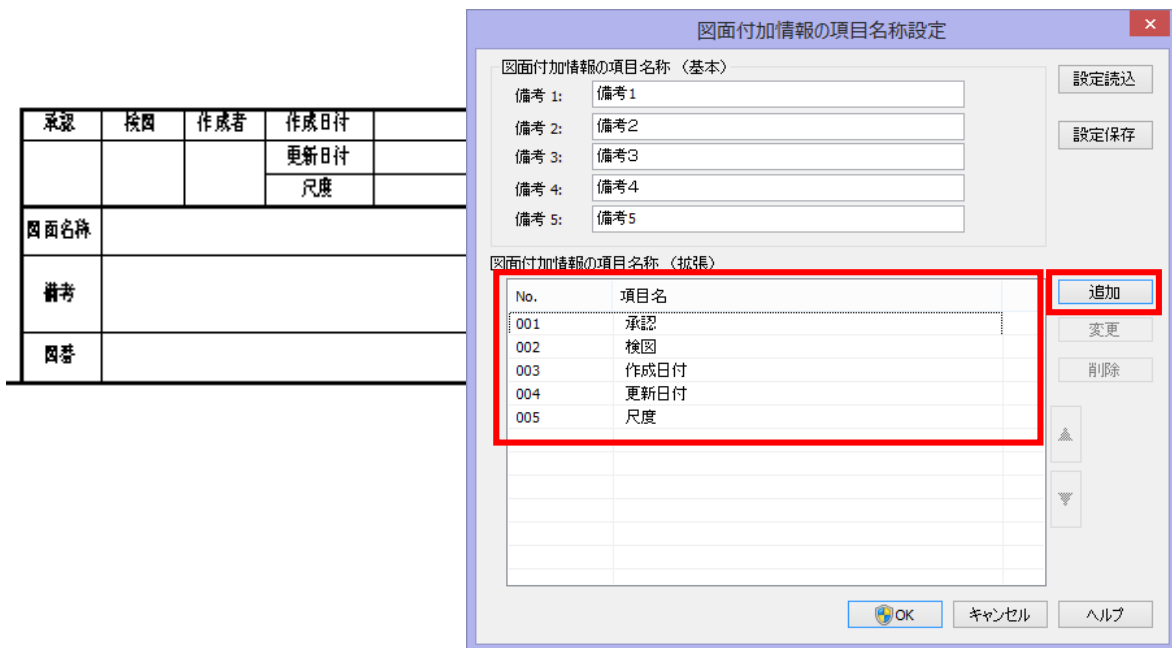
2) CADSUPER を起動し、[ファイル]—[システムローカル設定]を選択します。

※図面は開きません。

3) [全般]タブの「図面付加情報」をクリックします。



- 4) 「追加」 をクリックして、項目名欄に図面情報として保存したい属性項目を入力します。
 ※標準の属性項目は、「図面情報」、「図番」、「作成者」、「備考 1」～「備考 5」の 8 項目です。



- 5) 「OK」 をクリックして「図面付加情報の項目名称設定」画面を閉じます。
 6) 「OK」 をクリックして「システムローカル設定」画面を閉じます。

2. 図面情報の「項目に対する範囲」を指定します

- 1) [ツール]－[図面情報ツール]－[取得方法の定義]を選択します。
 ※「図面付加情報」で設定した項目が表示されます。



2) 範囲を設定したい項目（図面名称）を選択して、「取得」をクリックします。



3) 図面が表示されるので、「図面名称」を入力する範囲を対角点指定します。

承認	検図	作成者	作成日付	
			更新日付	
			尺度	
図面名称				
備考				
図番				

4) 指定した範囲が項目名の左に表示されます。



5) 設定したい項目が複数ある場合は、再度項目を選択し、範囲指定を行います。

6) 設定完了後、「設定保存」をクリックします。



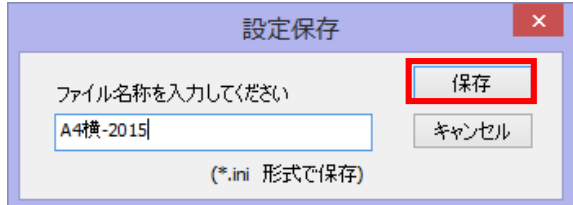
取得方法の定義

項目名	範囲
図面名称	202.000,33.000,287.000,41.994
図番	202.000,10.000,287.000,19.000
作成者	217.000,41.994,232.000,53.994
承認	187.000,41.994,202.000,53.994
検図	202.000,41.994,217.000,53.994
作成日付	252.000,53.994,287.000,59.994
更新日付	252.000,47.994,287.000,53.994
尺度	252.000,41.994,287.000,47.994

・範囲を指定する項目を選択して取得ボタンを押してください

7) ファイル名を入力して、「保存」をクリックします。

※定義ファイル (ini 形式) が Templates フォルダ内直下に保存されます。



設定保存

ファイル名称を入力してください

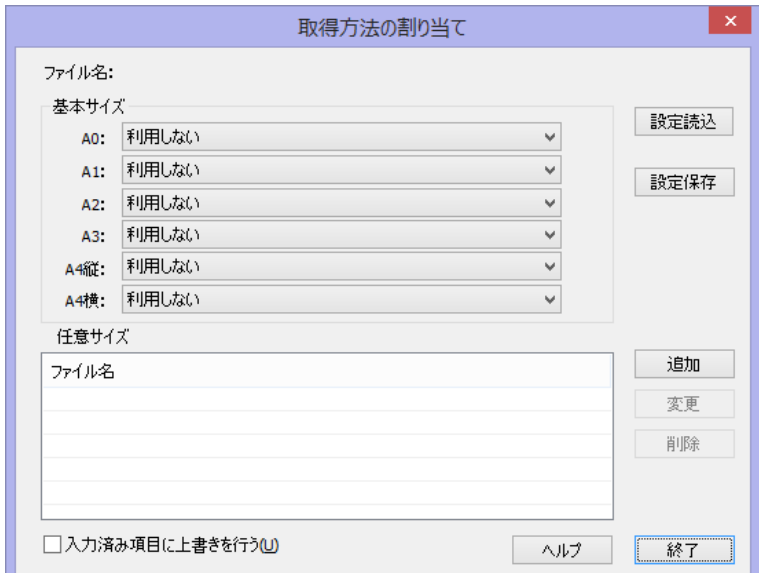
A4横-2015

(*.ini 形式で保存)

8) 用紙サイズごとに、1) ~ 7) の操作を行い、定義ファイル (ini 形式) を保存します。

3. 用紙サイズごとに定義ファイルを指定して、「図面情報リスト作成」を行います

1) [ツール]-[図面情報ツール]-[取得方法の割り当て]を選択します。



取得方法の割り当て

ファイル名:

基本サイズ

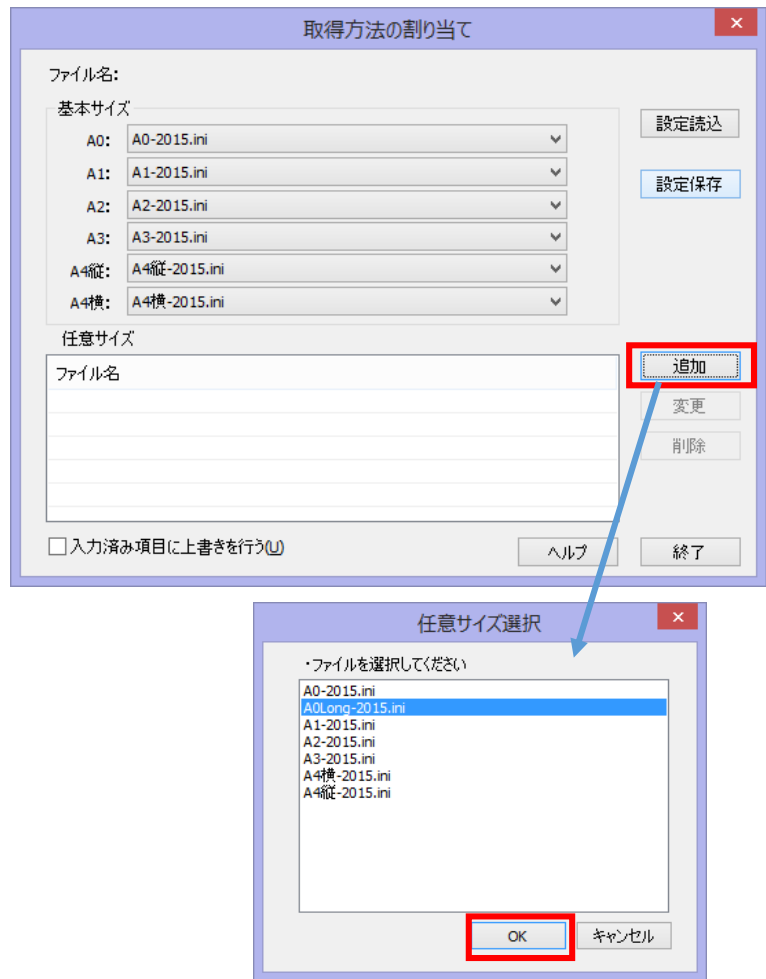
A0:	利用しない	<input type="button" value="設定読込"/>
A1:	利用しない	<input type="button" value="設定保存"/>
A2:	利用しない	
A3:	利用しない	
A4縦:	利用しない	
A4横:	利用しない	

任意サイズ

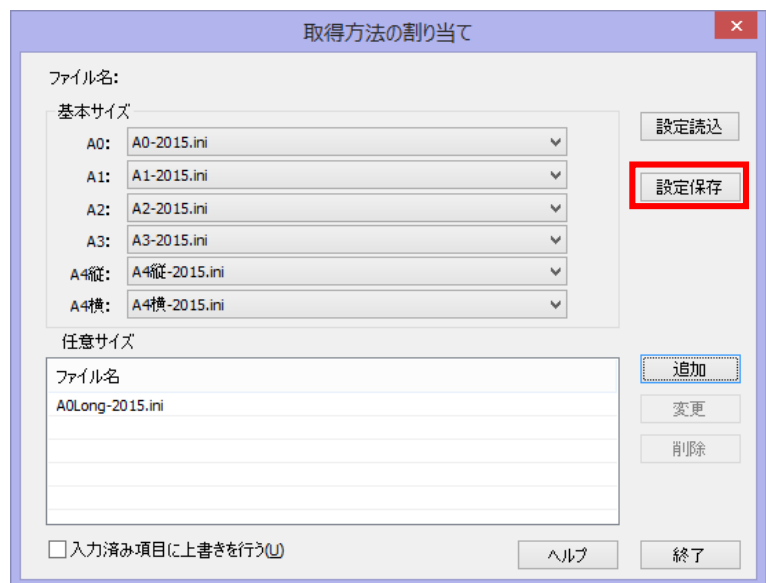
ファイル名	
	<input type="button" value="追加"/>
	<input type="button" value="変更"/>
	<input type="button" value="削除"/>

入力済み項目に上書きを行う(O)

- 2) 基本サイズは、それぞれ▼ボタンから「定義ファイル (ini 形式)」を指定します。
- 3) 任意サイズは、「追加」をクリックして、ファイルを指定します。

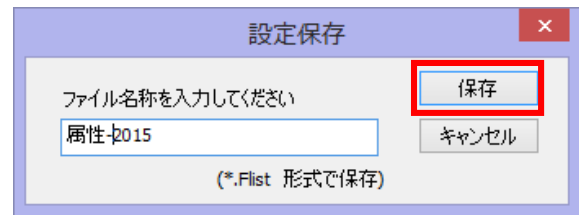


- 4) 設定完了後、「設定保存」をクリックします。



5) ファイル名を入力して、「保存」をクリックします。

※設定ファイル（Flist 形式）が Templates フォルダ内直下に保存されます。



4. 保存時に図面情報を取込むように設定します

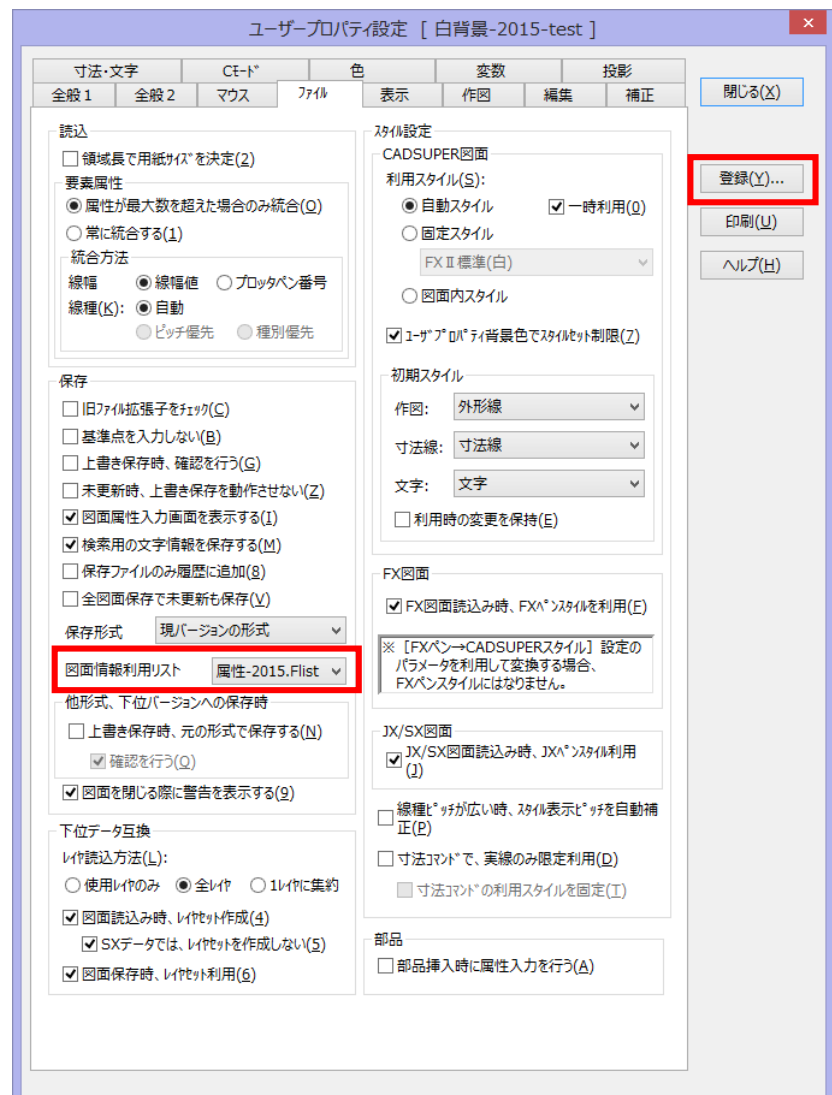
1) CADSUPER を起動し、[ファイル]-[ユーザープロパティ選択]を選択します。

※図面は開きません。

2) 「詳細」をクリックします。

3) [ファイル]タブで、「図面情報法利用リスト」を指定します。

4) 「登録」をクリックして、ユーザープロパティを上書き保存します。



5. 動作の確認をします

1) [ファイル]—[新規作成]から、テンプレートを開きます。

2) 図面に、図面情報を記入します。

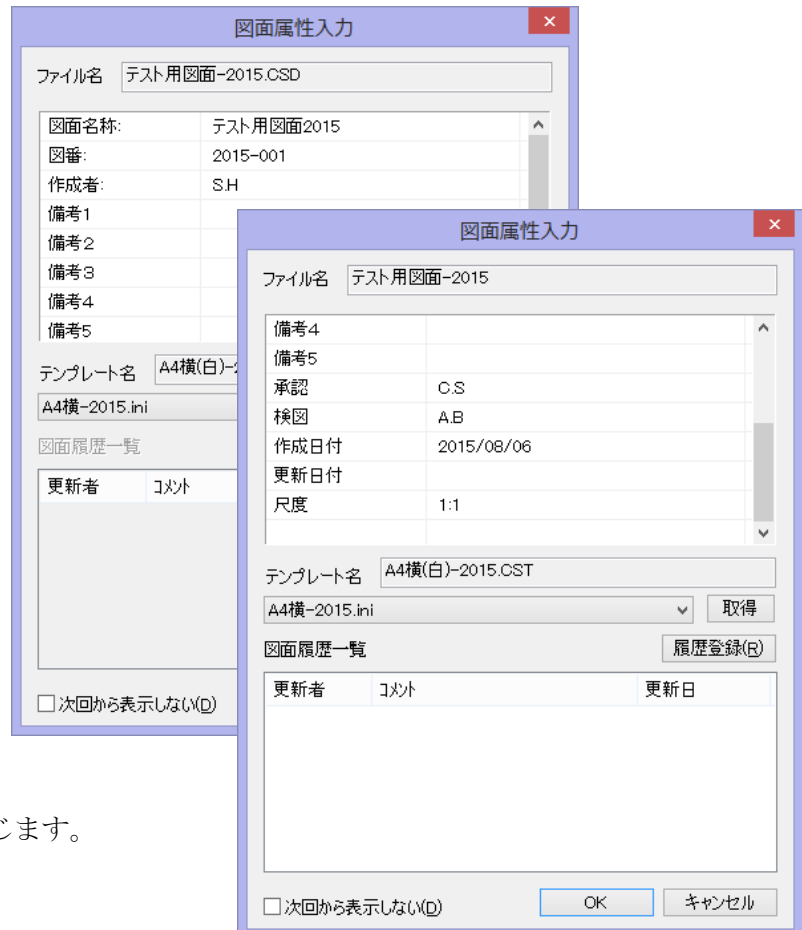
承認	検図	作成者	作成日付	2015年8月6日
C.S	A.B	S.H	更新日付	
			尺度	1:1
図面名称	テスト用図面2015			
備考				
図番	2015-001			

3) [ファイル]—[名前を付けて保存]を選択します。

4) 「図面の保存」画面で、ファイル名を入力して「保存」をクリックします。

5) 「図面属性入力」画面が表示されます。

※設定した図面情報が自動的に取込まれます。



6) 「OK」をクリックして画面を閉じます。